

地場産物利用状況 平成17年度

単位：％

	水沢区	江刺区	前沢区	胆沢区	衣川区
生鮮野菜（玉葱、じゃが芋、人参、大根、白菜、ほうれん草、きゅうり、なす）	9.4	1.1	25	18	9
主食（米）	100	100	100	100	100
豆類（味噌、豆腐、油揚げ、納豆）	85	0	100	100	100
きのこ類（生椎茸、干椎茸、なめこ、えのき茸、しめじ）	20.8	2.5	0	28.6	5
果物（りんご）	7.4	0	38.4	0	0
畜産物（牛肉）	6.7	0.1	16.2	9.9	2

奥州市教育委員会資料より

が、市長の考え方をお尋ね致します。
市長 基本的に限られた財源の中で、の見直しということで盛り込みました。保健推進委員は江刺区では従来からおいていないこともあり、理解と協力を求めています。

質問 「学校給食センターの運営見直し」は、「民間委託により直営を見直し（ただし、食材チェックなど安全対策の低下を防ぐこ

と）、PFI方式による施設整備運営は直営方式も検討する。前沢・胆沢・衣川給食センターの統合や給食運搬業務の民間委託の検討をする」とあります。大きな給食センターによる学校給食や民間へ委託し競争させることでは、「食育」教育と地産地消の取り組みに反するのではないのかと考えますが、市長のお考えをお尋ねします。

教育長 給食制度をコストだけで考えず、子供達の健康管理と合わせ、地元産の米、豆類は100％利用していますし、生鮮野菜等、果物の地元産の利用率を高めるようお約束します。

東海道の整備について
後藤新平銅像移設について



佐藤 建樹 議員

質問 平泉世界遺産関連遺跡として、水沢区羽田町内の火石森経塚の発掘調査、東海道周辺には神社仏閣が点在する、「平泉浄土思想」の文化伝播景観の古代の官道でした。文化の継承と整備を伺います。



火石森経塚

市長 文化財の保存・活用については、平泉の世界文化遺産登録を契機に、観光資源を掘り起し、コミュニケーションビジネスの創出につなげていきたい。東海道もこの大きなポイントの一つで、地元などで活用方法を検討します。

質問 後藤新平は鉄道院総裁時代新幹線の起源となる広軌化を提唱し、後年構想が実現した。その先見性を称え後藤新平生誕150年記念事業として、羽黒山山中の後藤新平銅像を東北新幹線水沢江刺駅前広場に移設するよう提案します。市長の所感をお伺いします。羽田町日坂森の小笠原家に、里子として乳母ケンさんに育てられ、後藤新平の直筆書簡が大事に保存されている緑の地です。

市長 権利関係を調べ、顕彰会や、実行委員会で話題にし、一定の方向が出たときに、行政がバックアップする形が望ましいと考えます。

解説

東海道とは…大化元年詔勅により国内に7つの官道がつくられ、東海道の延長の勿来関を越え、多賀国府から北上し志波城へ続く古代の官道です。古来から固有名詞化なつた東海道が北上川東丘陵地に、生母、黒石、羽田、江刺に現存。

妊婦無料健診の拡大について
発達支援・相談体制について
消防団協力事業所表示制度について
組織機構について



阿部 加代子 議員

質問 妊婦の無料健診回数の拡大についてお伺い致します。現在原則2回実施されている健診を厚労省は5回を全国基準とする方針を示しました。当市においても全国基準5回にすべきです。
市長 子育て支援の一環として、